

## 令和元年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立東部特別支援学校伊豆高原分校 P T A
学 校 名	静岡県立東部特別支援学校伊豆高原分校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	41名

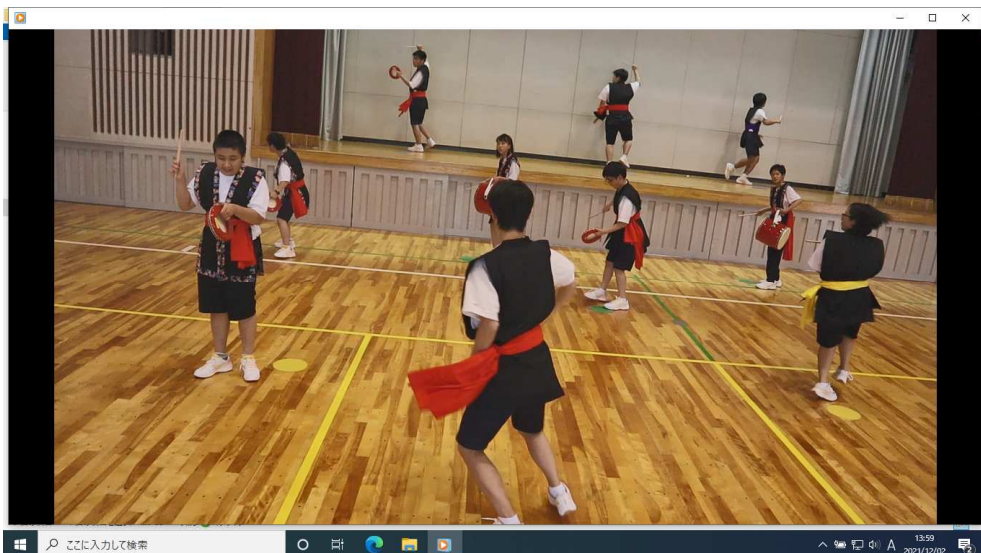
### 1. 使用状況

寄贈物品名	エイサー太鼓 3台
使用学年及び人数	全学年 41名
使用頻度	週1回
使用状況	今年度は1学期はエイサー選択生徒が『ダイナミック琉球』、2学期には全学年全員で『ミルクムナリ』を題材にエイサーに取り組んでいます。 新型コロナウイルス対応で歌唱が行えない中、映像を観ながら身体を動かし、動きに合わせて叩いています。 本場の映像を視聴して、同じ楽器を使って演奏・演舞できることで、意欲的に活動できています。
物品の使用による変化や効果	引き続き縦割りグループを組んで順番に叩く単元で行っているため、ほとんどの生徒が太鼓に触れることができています。 一緒に使用しているパーランクーとの音色の違いや音量の違い、叩き方の違いがわかり、楽しみながら活動しています。
今後の活用の見通しや課題	エイサーは、太鼓・パーランクーのリズムアンサンブル要素、踊りの身体表現要素と複数の要素が組み合わさっており、複雑ですが教材としては奥深いと感じています。これからも継続して授業に取り入れようと考えています。
その他希望や所感など	沖縄ならではの楽器に触れる機会があることは、生徒にとって大変貴重な経験になっています。寄贈して頂けたこと、本当に感謝しております。



エイサーの映像を観ながら、リズムや叩き方の確認をしています。実際に楽器を叩きながら行うことで、覚えるのも早く、エイサー太鼓を叩いています。

文化祭のステージ発表で披露しました。  
(映像参加)



躍動感あふれる発表ができました。